

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 日本農産工業株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 220-8146 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1	
本票作成	部署名：製造グループ				
主たる業種	分類コード	10	業種名：飼料製造		
事業の概要	配合飼料の製造、販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島工場		倉敷市児島塩生2767番地の32	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成22年度		～	平成26年度 (5 箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 1.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (21 年度)			目標年度 (平成26 年度)					
	6,282 t CO ₂			6,260 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (21 年度) の排出量					
	①	水島工場		6,282 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 製造数量 (トン)	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		16.46 kg CO ₂ / (トン)	16.30 kg CO ₂ / (トン)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

蒸気 (A重油を燃料として使用) で加工が必要な製品及び、フォークリフト (LPGを使用) での運搬作業が今後減少する傾向にないため、目標削減率を1%に定めた。原単位基準を製造数量にした理由は、工場で使用されるエネルギーが製造量に大きく影響されるため。

【目標削減率達成のための推進体制】

省エネルギー推進責任者；工場長 管理監督者；エネルギー管理員 1名、グループリーダー 1名、チーフリーダー 1名

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
水島工場	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年3月 蒸気トレイン回収によるボイラー給水温度のアップ（50度から60度へ） ・2008年6月 老朽化した15KWコンプレッサーをインバータ式に入替え ・2010年5月 老朽化した37KWコンプレッサーをインバータ式に入替え ・2010年3月 ボイラーの燃焼調整の見直し ・2010年5月 保温材が巻いていない蒸気用バルブに保温カバーを取付 ・2010年5月 コンプレッサー最大圧力の見直し（0.69kPaから0.65kPaへ変更）

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
水島工場	<ul style="list-style-type: none"> ・専門業者によるスチームトラップの定期点検 ・保温がされていない蒸気用減圧弁等に保温カバーを取付 ・各工程の機械運転状態の見直し ・省エネタイプの照明器具の導入

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--